

那須塩原市中学生海外派遣研修事業参加者追跡アンケート

# 調査報告書



那須塩原市教育委員会

令和2（2020）年3月

## はじめに

那須塩原市中学生海外派遣研修事業では、「21世紀の国際社会に貢献できる青少年の育成」を目指し、これまで数多くの中学生をオーストリアに派遣してまいりました。

平成23年の東日本大震災や福島第一原子力発電所事故の影響により、本事業の存続が危ぶまれましたが、平成17年度からスタートした本事業も今年度で15周年という節目を迎え、研修参加者が536名に達しました。

中学生海外交流事業が15周年という節目を迎えたことを機会に、「那須塩原市中学生海外派遣研修事業参加者の追跡アンケート調査」を実施しました。この調査は、研修事業参加者にその後の進路や研修が与えた影響や効果などについてアンケートを行ったもので、平成26年度に行い、今回2回目となります。この調査結果を踏まえ、今後の研修内容の改善やこの事業をどのように発展させていったらよいかについて検討していきたいと考えています。

今回、アンケートに御回答いただいた学生の皆様、また各分野で御活躍されている皆様に厚く御礼申し上げますとともに、引き続き本市発展のために御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2（2020）年3月

那須塩原市教育委員会

「那須塩原市中学生海外派遣研修事業参加者の追跡アンケート」  
調査報告書

目 次

I	アンケート調査の概要	-----	p.2
1	調査の趣旨・目的		
2	調査の概要		
3	調査期間		
4	調査方法等		
II	アンケートの調査結果	-----	p.3
Q1	基礎情報		p.3
Q2	その後の生活への影響の有無		p.3
Q3	ホストファミリーとの関係維持		p.4
Q4	海外留学経験		p.5
Q5	海外勤務経験		p.5
Q6	参加して一番良かった点		p.5
Q7	研修のご意見・ご要望		p.5
Q8	事業への協力		p.6
Q9	OB会への参加		p.6
		-----	p.7
III	添付資料		

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の趣旨・目的

平成17年度からスタートした「那須塩原市中中学生海外交流事業」は、今年度で、研修参加者が536名に達しました。これを機会に、派遣研修事業参加者の現状を知ると同時に、その後の進路や海外派遣研修事業が与えた影響や効果を調査し、今後の研修内容の改善や事業発展に生かすため調査を実施しました。

## 2 調査の概要

- (1) 中学校卒業後の進路等について (【Q1】)
- (2) 海外派遣研修事業の効果等について (【Q2-1、2、3】)
- (3) ホストファミリー等との関係維持について (【Q3-1、2】)
- (4) 海外派遣研修事業参加後の海外経験について (【Q4】、【Q5】)
- (5) 海外派遣研修事業全体について(自由記述) (【Q6】、【Q7】)
- (6) 今後の海外派遣研修事業への協力、参加について (【Q8】、【Q9】)

## 3 調査期間 令和元(2019)年11月25日(月)～令和元(2019)年12月20日(金)

## 4 調査方法

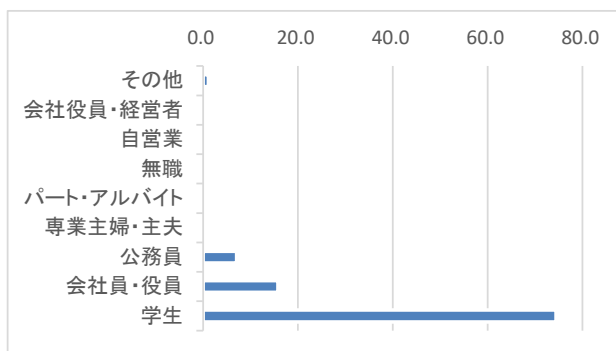
- (1) 調査方法 アンケート用紙の郵送による送付と回収
- (2) 調査対象 平成17年度参加者から令和元(2019)年度参加者 536名
- (3) 回答状況 回収件数 184名(回収率 34.3%)

## Ⅱ アンケートの調査結果

### 【Q1】基礎情報 現在の状況(職種)

回答者の年齢が14歳～28歳前後ということで、全体の約74%が就学中という結果となった。

	職種	人数(人)	割合(%)
1	学生	137	74.5
2	会社員・役員	29	15.8
3	公務員	13	7.1
4	専業主婦・主夫	1	0.5
5	パート・アルバイト	1	0.5
6	無職	1	0.5
7	自営業	0	0.0
8	会社役員・経営者	0	0.0
9	その他	2	1.1

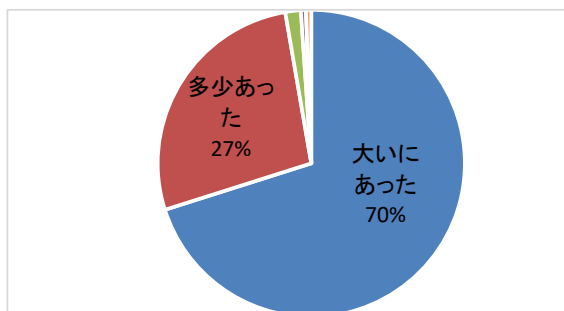


### 【Q2】生活への影響

(1)「海外派遣研修事業」への参加は、その後の生活等に影響がありましたか？

「大いにあった」「多少あった」の割合が約97%となり、本研修が参加者のその後の生活に強く影響を与えていることが分かった。

	内容	人数(人)	割合(%)
1	大いにあった	129	70.1
2	多少あった	50	27.2
3	普通	3	1.6
4	あまりなかった	1	0.5
5	全くなかった	0	0.0
6	不明	1	0.5

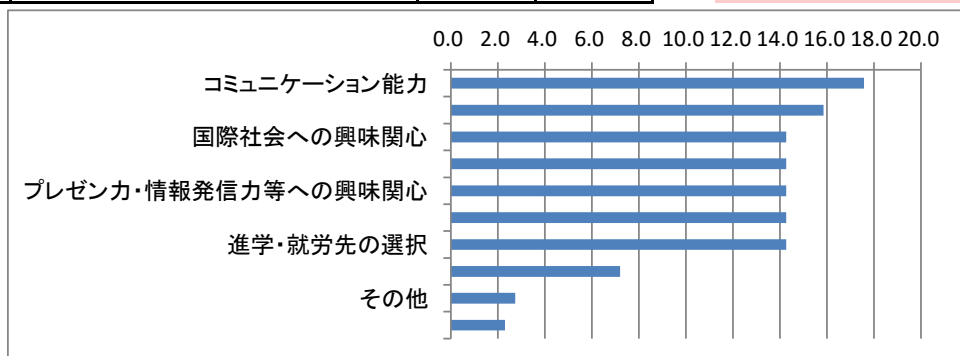


(2) 具体的に、どのような影響ですか。(複数選択可)

※【Q2】(1)で「ア 大いにあった」「イ 多少あった」を選択した方のみ回答

	内容	人数(人)	割合(%)
1	コミュニケーション能力	122	17.6
2	海外留学への興味関心	110	15.9
3	国際社会への興味関心	99	14.3
4	企画力・運営力等への興味関心	99	14.3
5	プレゼンカ・情報発信力等への興味関心	99	14.3
6	AI等知識・能力への興味関心	99	14.3
7	進学・就労先の選択	99	14.3
8	自国への興味関心	50	7.2
9	その他	19	2.7
10	郷土愛	16	2.3

【Q2】(1)で「ア 大いにあった」「イ 多少あった」と回答したのは179名(約97%)  
一番多かったのは、「コミュニケーション能力」、次いで「海外留学」、「国際社会」、「企画力」、「プレゼンカ」、「AI知識」、「進学」への興味関心だった。研修にプレゼンテーションを取り入れているので、もっと学びたいという意欲が出てきていると考えられる。



(3)差し支えなければ、海外派遣研修の経験を生かした仕事をしている方は、どのような仕事が具体的に教えてください。

直接海外の方と接する仕事に従事している参加者がいることがわかった。

**【主な回答】**

○ 2015～2017年に国立青少年教育振興機構にて、青少年や青少年指導者に対する国際交流事業(日独、日韓、アセアン、ミクロネシア)の企画運営に従事。2017年から現在にかけて旅行会社にて、インバウンド事業を担当し、ヨーロッパからのお客様に日本旅行を提案。

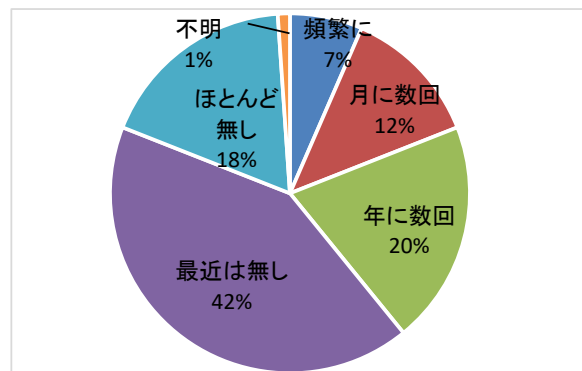
- 外資系企業 ○ 客室乗務員 ○ ツアーコンダクター ○ プロジェクトマネジメント
- 海外との契約書や提案書の英語対応、海外開発拠点との英語でのやりとりなど
- 論文執筆のための海外での調査研究
- 海外ファンドへの投資業務
- 海外の顧客に対して商品開発、設計を担当
- 外国人に対する道案内等
- 英語ディベート活動の実施・普及、留学生対応

**【Q3】 関係の維持**

(1)「海外派遣研修」でお世話になったホストファミリーや現地スタッフの方と、今でも関係を維持していますか？

「最近は無し」、「ほとんど無し」が約59.7%(H26 66%)となり、関係を維持することが難しい状況であることがわかった。「頻繁に」、「月に数回」と答えた参加者が約19%(H26 12.9%)となり、何らかの形で交流をし続けている参加者が増えていることがわかる。

	内容	人数(人)	割合(%)
1	頻繁に	12	6.5
2	月に数回	23	12.5
3	年に数回	37	20.1
4	最近は無し	77	41.8
5	ほとんど無し	33	17.9
6	不明	2	1.1

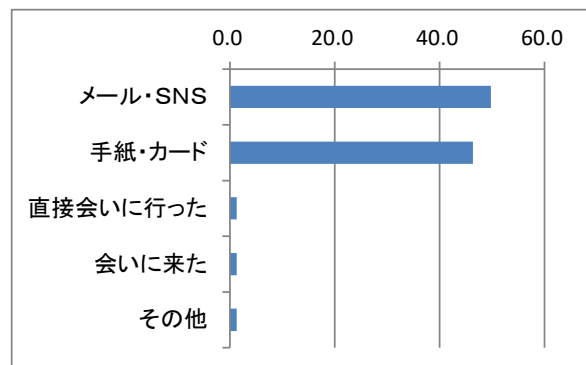


(2) 具体的に、どのような手段ですか。(複数選択可)

※(1)で「ア～エ」を選択した方のみお答えください。

インターネットを利用した交流の他、手紙やカード類の送付といった、昔ながらの交流も多く行われていることが分かった。少数ながら「連絡しても返事が来ない」との回答もあった。

	内容	人数(人)	割合(%)
1	メール・SNS	115	49.8
2	手紙・カード	107	46.3
3	直接会いに行った	3	1.3
4	会いに来た	3	1.3
5	その他	3	1.3



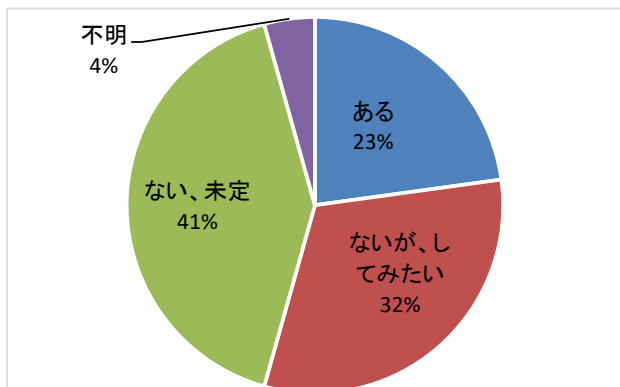
※その他の内容

- ホストファミリーの職場で大学在学中にインターンシップをやらせてもらった
- WhatsApp
- 韓国で会った

**【Q4】今までに(または、現在において)海外留学経験はありますか？**

「ある」と「ないが、してみたい」を合わせると半数を超える参加者が海外留学への興味関心があることがわかる。

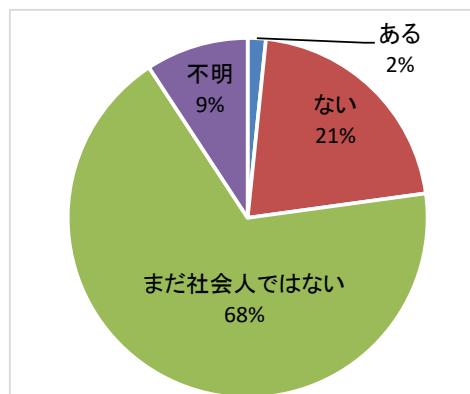
	内容	人数(人)	割合(%)
1	ある	42	22.8
2	ないが、してみたい	58	31.5
3	ない、未定	76	41.3
4	不明	8	4.3



**【Q5】今までに(または、現在において)海外での勤務経験はありますか？**

回答者の74%が就学中ということで、「ない」、「まだ社会人ではない」が約89%を占めた。

	内容	人数(人)	割合(%)
1	ある	3	1.6
2	ない	39	21.2
3	まだ社会人ではない	125	67.9
4	不明	17	9.2



**【主な意見】**

- シンガポールで1年間
- アメリカで1ヶ月半
- 中国で5週間

**【Q6】あなたにとって、「海外派遣研修」に参加して、一番良かったと思えることは何ですか。**

**【主な意見】**

- 自国や他国に対する興味・関心が強くなり、理解が深まった。(94人)
- 語学への興味が高まるとともに、英語力が向上した。(40人)
- コミュニケーションについて学んだ。コミュニケーション力が身に付いた。(33人)
- 将来の職業選択を含め、物事を考える視野が広がった。(24人)
- 国内はもとより、外国にも家族や友達をもつことができた。(22人)
- 自分に自信がついた、成長できた。(20人)
- リーダー性や積極性、行動力が増した。(19人)
- 海外や外国の人、外国の言語に対する恐怖心、抵抗感がなくなった。(4人)
- 他中学の生徒との交流(3人)

**【Q7】「海外派遣研修事業」について、今後の発展のために、御意見、御要望をお知らせください。**

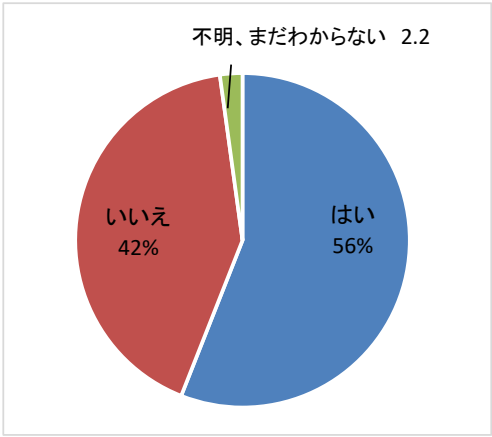
**【主な意見】**

- 中学生という成長真っ只中の期間に、いろいろなことを吸収できる事業であると思うので、今後も継続して続けてほしいと思います。
- 子どもたちが気軽に参加できるような、オーストリアをはじめとする国際交流イベントを海外派遣研修事業参加者(OB会)やALTで企画して開催すれば、今まで以上に子どもたちに興味・関心を持たせることができると思います。
- 若年層のみならず全世代を通して国際理解が深まる環境が整備されればなお良いと感じます。
- リンツ派遣によって海外へ視野を向けた参加者が将来的に市から出て行ってしまわないかという声があるようですが、海外での仕事を経ているのは那須塩原市に戻ってくる予定だという参加者は身近に何人もいます。実際に私も、海外派遣という素敵な経験をさせていただいた那須塩原市へ恩返しをしたいという思いや、リンツとの関わりを持ち続けたいという思いから、ドイツ語を勉強し、那須塩原市へ戻ってきた一人です。このように、リンツ派遣によって視野を広げた参加者の中には、自身の経験を活かして市へ貢献しようとしている者も沢山いるので、海外派遣事業は那須塩原市にとっても意味のあるものなのではないかと思えます。(海外派遣事業の有無が問題ではなく、視野を広げて経験を積んだ若者達に戻ってきたいと思える街づくりをできるかどうかが重要な課題であるように思います。)

【Q8】今後、海外派遣研修事業に参加する中学生に、海外派遣研修で学んだことや、その経験をその後の人生にどのように生かしているかなどについて話す機会があったら、御協力をいただけますか。

半数を超える参加者が「はい」と答えた。「いいえ」と答えた参加者の理由としては「現在、地元(栃木)にいない」、「進学先が県外の予定」であった。

	内容	人数(人)	割合(%)
1	はい	103	56.0
2	いいえ	77	41.8
3	不明、まだわからない	4	2.2



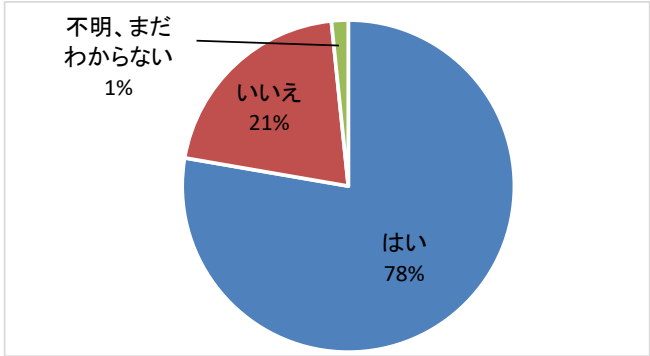
【主な意見】

- 日程が合えば参加したい
- 進学先は地元を離れるので難しいと思いますが状況が許せば可能

【Q9】今後、海外派遣研修事業参加者によるOB会のような組織を作るとしたら、参加していただけますか。

3分の2以上の回答者(143人)がOB会への参加を希望しているという結果となった。

	内容	人数(人)	割合(%)
1	はい	143	77.7
2	いいえ	38	20.7
3	不明、まだわからない	3	1.6





Ⅲ 添付資料（アンケート調査用紙）  
令和元(2019)年度

## 那須塩原市海外派遣事業参加者追跡アンケート

那須塩原市中学生海外事業実行委員会

### 【アンケート調査実施方法】

下記のQRコードから、インターネット上のアンケート調査回答ページにアクセスしてください。このアンケート用紙をご覧になりながら、各質問番号欄に、必要事項、回答番号、コメントなどを記入し、送信をお願いします。

- ① QRコードを読み取る。



送信先：英語教育推進室  
eigosuishin@city.nasushiobara.lg.jp

- ② ⇒「メール作成画面」はこちらをクリックする。



- ③ 必要事項等を入力する。

宛先: eigosuishin@city.nasushioba...  
Cc/Bcc、差出人: kentaro.muroken@icio...  
件名: 海外派遣研修事業参加者追跡アンケート

【1】  
1 氏名: (旧姓: )  
2 派遣年度:  
3 現住所:  
・〒:  
・住所:  
4 連絡先:  
・電話番号:  
・携帯番号:  
5 現在の状況:  
・職種:

- ④ メールにて送信する。

### 【アンケート】

#### 【1】参加者情報

1 氏名: (旧姓: )

2 派遣年度:

3 現住所:

・〒:

・住所:

4 連絡先

・電話番号:

・携帯番号:

5 現在の状況

・職種 ア 会社員・役員      イ 自営業      ウ 会社役員・経営者

エ 公務員      オ 学生      カ 専業主婦・主夫

キ パート・アルバイト      ク 無職      ケ その他

・差し支えなければ、所属先名称・担当部署等を教えてください。

※学生の場合は学校名・学部名

### Ⅲ 添付資料（アンケート調査用紙）

#### 【2-1】「海外派遣研修事業」への参加は、その後の生活等に影響がありましたか？

- ア 大いにあった      イ 多少あった      ウ 普通  
エ あまりなかった      オ 全くなかった

※【2-1】で「ア 大いにあった」「イ 多少あった」を選択した方のみお答えください。

#### 【2-2】具体的に、どのような影響ですか。（複数選択可）

- ア コミュニケーション能力（あいさつや返事、積極性、協調性等）  
イ 自国（日本）への興味・関心  
ウ 郷土愛  
エ 海外留学への興味・関心  
オ 国際社会への興味・関心  
カ 会議やイベント等の企画力・運営力等への興味・関心  
キ プレゼンテーション力・情報発信力等への興味関心  
ク AIやテクノロジーなど将来必要とされる知識・能力への興味関心  
ケ 進学・就労先の選択  
コ その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

#### 【2-3】差し支えなければ、海外派遣研修の経験を生かした仕事をしている方は、どのような仕事か具体的に教えてください。

#### 【3-1】「海外派遣研修」でお世話になったホストファミリーや現地スタッフの方と、今でも関係を維持していますか？

- ア 頻繁に連絡をとっている。  
イ 月に数回連絡をとっている。  
ウ 年に数回連絡をとっている。  
エ 派遣後しばらくは連絡をとっていたが、最近では連絡をとっていない。  
オ 派遣後、ほとんど連絡をとっていない。

※【3-1】で「ア～エ」を選択した方のみお答えください。

#### 【3-2】具体的に、どのような手段でですか。（複数選択可）

- ア メールやSNS等でのやり取り  
イ 手紙やクリスマスカード等の送付  
ウ オーストリアに会いに行った。  
エ オーストリアから会いに来た。  
オ その他(具体的に： \_\_\_\_\_ )

### Ⅲ 添付資料（アンケート調査用紙）

#### 【4】今までに（または、現在において）海外留学経験はありますか？

- ア ある（国名：            いつ：            期間：            ）
- イ 海外留学経験がないので、将来海外留学をしてみたい。
- ウ 海外留学経験がない。また、海外留学は未定である。

#### 【5】今までに（または、現在において）海外での勤務経験はありますか？

- ア ある（国名：            いつ：            期間：            ）
- イ 海外での勤務経験はない。
- ウ まだ社会人ではない。

【6】あなたにとって、「海外派遣研修」に参加して、一番良かったと思えることは何ですか。

【7】「海外派遣研修事業」について、今後の発展のために、御意見、御要望をお知らせください。

【8】今後、海外派遣研修事業に参加する中学生に、海外派遣研修で学んだことや、その経験をその後の人生にどのように生かしているかなどについて話す機会があったら、御協力をいただけますか。

- ア はい
- イ いいえ

【9】今後、海外派遣研修事業参加者によるOB会のような組織を作るとしたら、参加していただけますか。

- ア はい
- イ いいえ

御協力ありがとうございました。

●編集・発行者 : 栃木県那須塩原市教育委員会学校教育課 英語教育推進室

●発行日 : 令和2(2020)年3月

●連絡先 : 〒329-2792

栃木県那須塩原市あたご町2番3号

電話 : 0287-37-5349

FAX : 0287-37-5479

E-mail : eigosuishin@city.nasushiobara.lg.jp

●無断転載禁止



楽しさいっぱい 夢いっぱい ふるさと大好き 那須塩原っ子